

声の広報をお届けします



▲専用機器
「プレクストーク」

目の不自由な人に広報あらおや社協だよりなどが録音されたCDをお届けします。CDは専用の機器で再生します。身体障害者手帳をお持ちで視覚障害2級以上の人に機器を給付しています（所得の状況により自己負担あり）。友人や家族などで声の広報を必要としている人はいませんか。心当たりがある人はご相談ください。専用機器について…

岡福祉課福祉係 ☎ 63-1406

声の広報について…

岡朗読サークルあらお 本村

☎ 63-0121

朗読サークルあらお 30周年記念 声を届けて 30年

サークルの創立30年を記念してイベントを開催します。入場無料です。たくさんのご来場お待ちしております。

●日にち 7月25日（金）

●時間 開場：12時30分
開演：午後1時

●場所 文化センター小ホール

●内容

- ・公開講座「利用者が求める音訊 聞き手に届く朗読とは」
パネラー：榊寿之さん（NHK 日本語センター）・川上正信さん（横浜市立図書館）ほか
 - ・高校生などへの公開レッスン
 - ・サークル会員による朗読など
- 岡朗読サークルあらお 瀬戸
☎ 66-2197



1・2・3_朗読練習の勉強会。4_声の広報録音作業。5_声の広報発送作業。

「みんなで和気あいあいと大好きな朗読に取り組むことがすっかり生きがいになりました。私たちの声を楽しみに待ってくれている人もいるので励みになります」と、笑顔がこぼれます。サークルの皆さんは、毎月、広報紙を朗読して、CDに録音し、15人ほどの利用者に声の広報を届ける活動も行っています。平均36ページの広報紙を3時間ほどかけて丁寧に読み上げ、その都度、人名の読み方を確認するなど正しい情報の伝達を徹底。納得いくまで何度も撮り直すため、録音に6時間かかることもあるそう

です。それでも、わずか1週間で朗読から発送までの一連の作業を終え、一般の家庭に広報紙が届くよりも2日ほど早く、目の不自由な人へ声の広報を届けています。広報紙などが吹き込まれたCDは視覚障がい者専用の機器でしか聞くことはできません。しかし、図書館まつりなど市内で催されるイベントで私たちも朗読を楽しむことができます。さまざまな舞台で活躍中の朗読サークルあらお。ことし、創立30周年を迎えるサークルの皆さんからますます目が離せません。

特集

好きをシェアする

※シェア（Share）…共有

毎月、皆さんにお届けしている広報あらお。皆さんに知ってもらいたい情報がてんこもりです。

でも、冊子のままだと読むことができない人たちもいます。読むことができない人たちに情報を届けるには…？

そこには大好きな朗読を一生懸命頑張る人たちの姿がありました。

主は目の不自由な人のために広報紙・社協だより・新聞・小説などをボランティアで朗読するサークルがあります。それが朗読サークルあらお（代表・都知木志郎さん）です。「朗読が大好き」と、口をそろえるサークルの皆さんは、定例の勉強会だけでなく、通信添削を受け、東京まで研修に行くなど、勉強熱心です。「イントネーションや息遣いに気をつけたり、登場人物で声の出し方を使い分けたりしています。写真を撮った人の気持ちまで伝えられるように写真の説明にも力を入れていきます」と、細部にもこだわりを見せます。朗読を通して、話や写真の内容をイメージしてもらえよう、日々努力を重ねるサークルの皆さんですが、自分たちの朗読に満足することはほとんどないと言います。やればやるだけ「もう少し」という思いが生まれる。それほど朗読は奥深いのです。

声の広報を届ける
朗読サークルあらお

好きなことを突き詰めた先に 待っていてくれる人がいるー

